

## 1 考 察

北上市在宅医療介護連携支援センター長 柴 内 一 夫  
(北上済生会病院 副院長)

この度、当センターにて看取りに関わるアンケートを進めさせて頂きました。ご協力頂いた各施設ならびに実施に携わった関係各位にはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。特にご多忙の中でも100%のご回答を頂いた職能団体が半数近くを占めましたことは、北上市における皆様の真摯な想いが伝わる結果でした。

既に少子高齢化を迎えて多死社会が到来する地域におきまして、自分が望む場所で最期の時を穏やかに迎えることは容易なことではありません。介護や医療を担う我々が努力を重ね、そのような環境を共に築き上げて行くことが必要です。そこで、看取りに関する現状を共有すべくアンケートを施行しまして結果をまとめることができました。以下、拙いながらも項目に沿いながら個人的な考察を述べさせていただきます。

施設の利用率につきましては、既に高い利用率となっており、介護のニーズが益々増えることが分かっている当地区において、行政や関連機関が先ずは対策を考える必要があります。

終末期対応加算の対応は、施設間でその有無が大きく分かれました。取り組みに難渋するそれぞれの事情があるわけですが、先行する施設との情報交換などの機会を増やすことを考えたいところです。

登録喀痰吸引事業者の有無には、ばらつきがみられました。きちんとした訓練を踏まえば喀痰吸引は問題なく行えますし、息苦しくなった方への対応が直ぐできるようになります。広く浸透する手技となることが望まれます。

看取りへの対応をしない施設は四分の一でした。利用者にとって安住の住処となっている場合、そこでの最期を迎えて頂けることが我々に課せられていることの一つです。しかし、そのことを施設に無理強いすることは避けなければなりません。また、ケアの度合いに応じて必要時にスムーズに他施設に委ねること、最期が不意に訪れた場合への対応も日頃から考えておきたいところです。

看取りに関する指針については、ない施設が少ないものの複数みられました。指針作りそのものが施設での看取りを考える良い機会であり、また望まれることかと考えます。

看取り対応の説明の時期や承諾書の有無については、それぞれの施設の特性に合わせて行われており、一概にこうすべきというわけではないようです。利用者や家族に寄り添った対応が行われることが期待されています。

看取りのための個室の確保が高い割合でなされており、配慮の行き届きが感じられます。

緊急搬送回数が少ないことは、救急車を利用して病院搬送となった場合、救命処置が本人の意向にかかわらず施行される点を踏まえば望ましいことなのかも知れません。

看取り対応者と施設の死亡診断の実施については、施設で死亡診断までしっかりと行われていることを示し、看取りへの取り組みが進んでいると考えられました。

看取りができなかった理由については（できない例数そのものが低い）、状況に即した対応ができていることの表れと思われました。

看取りを実施する上で重要なこととして、施設の方針が重要と考えられており、さらに職員の理解と協力、医療機関との連絡体制、意思確認・意思決定支援は特に重要とみなされ、今後取り組むべきことが明らかとなりました。

施設内で死亡診断するうえで重要なこととして、やはり医療機関との連絡体制や意思確認・意思決定支援が上位を占めていました。

看取りに対応しない理由として施設の特徴が一番となったのは、個別の取り組みだけでの対応の難しさを示しています。以降の理由それぞれについても今後考えていく必要があります。

看取り実施の希望については、実施していない施設の過半数が今後の看取り実施を希望しておりました。ここでも連絡体制や指針などが重要なこととして掲げられ、他には職員への配慮を重視していることが注目されます。

施設内で死亡診断する上で重要なことでは、やはり死亡診断書を作成できる医師の対応が今後の課題となりそうです。

いわて中部ネットの利用については、直接に施設看取りとは関連しませんが、課題となった連絡体制に役立つものであり、更なる普及を目指したいところです。

わたしのきぼうノートの利用については、一割に満たない状況でした。作成した側の一人として、看取りについて話し合うきっかけとなるツールであるため、もう少し活用して頂ければ嬉しいです。

看取りの定義・概念と、高齢者施設における看取りに関する各施設の意見は、自由記載でそれぞれ答えて頂きました。今回のアンケートで得られたなかでのハイライトとなりました。ここには皆様の想いや希望が記されており、北上市における良き看取りへの宣言にも思えます。

コロナ禍にある現況では、平時ですら容易ならざる看取りへの取り組みが一層複雑なものとなっています。そして介護や医療の専門性への期待は高まっています。このアンケート結果が、看取りについて一緒に考えていくことに少しでもお役にたてることを願ってやみません。ご回答頂いた方々へ重ね重ねの感謝を申し上げてこの稿を終わります。